

危機管理連絡会議

日時：令和元年6月27日（木）22：00～

場所：県庁4階405会議室

協議事項

- マダニによる「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」等の感染予防について

資料提供			
月日（曜日）	担当課	電話番号	担当者
6月27日（木）	健康づくり課 感染症・疾病対策室	088-621-2228	梅田・岩田

マダニによる「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」等の感染予防について

県内において、今年に入り4例目、5例目となる重症熱性血小板減少症候群（SFTS）患者2名の発生が確認されました。

「重症熱性血小板減少症候群」は、SFTS ウイルスを保有するマダニに刺咬されることで感染するとされており、マダニは、春から秋にかけてが活動期であり、野外における予防対策が重要となることから、改めて県民の皆様に対し、広く注意喚起をするものです。

【今回のSFTS患者の状況】

- 1 患者：阿南市在住の70歳代、80歳代女性
- 2 主な症状等：発熱、消化器症状、白血球・血小板減少 等
- 3 感染原因（推定）：庭（草むしり）作業等
- 4 マダニによる刺し口：刺し口なし
- 5 経過等：
令和元年6月中旬より、発熱、消化器症状等があり、医療機関を受診。
6月27日、医療機関から阿南保健所に行政検査の依頼があり、保健製薬環境センターでの確定検査により「SFTS ウイルス」に感染していたことが確認された。
現在、2名とも入院加療中。

予防のポイント

マダニに咬まれないことが重要です。

- 1 草むらや山など、マダニが生息する場所に入る際は、長袖・長ズボン、手袋、首にタオルを巻くなど肌の露出を避けましょう。
- 2 屋外活動後は入浴し、マダニが付着していないか確認しましょう。
- 3 マダニに咬まれた場合は、無理に引き抜こうとせず、医療機関で処置してもらってください。
- 4 マダニに咬まれた後に発熱等の症状があった場合は、直ちに医療機関を受診しましょう。
※ なお、マダニ刺咬は、SFTS 以外にも日本紅斑熱など複数の感染症を引き起こします。春から秋にかけてマダニに咬まれないように注意してください。
※ 別紙、「マダニが媒介する新しい感染症 SFTS(重症熱性血小板減少症候群) 早期発見、早期治療が大切！！」を参考にしてください。

徳島県では、県ホームページへの掲載、また、関係機関や市町村に対してリーフレットを作成し配付することにより、マダニによる感染予防を呼びかけています。

【これまでの発生状況（H25.6.1以降）】

（全国（R元.5.29現在）：421人の感染が確認（うち66人が死亡）
（本県（R元.6.27現在）：30人の感染が確認（うち7人が死亡）

【当感染症発生時の公表取扱い】

SFTS については、感染症法における「4類感染症」に分類されており、通常は県感染症情報センターから届出数等の公表を行うが、今回は県民への注意喚起等の「感染対策上の必要性」から特に個別発表を行うものである。

※ 患者等の人権の尊重には、特段のご配慮をお願いします。

マダニが媒介する新しい感染症 SFTS(重症熱性血小板減少症候群)



タカサゴキララマダニ

早期発見、早期治療が大切！！

問1: SFTSってどんな病気？

2011年に初めて特定されたSFTSウイルスに感染する事によって引き起こされる病気で、6日～2週間の潜伏期を経て、発熱、消化器症状(食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛)をひき起こします。重症化すれば、死亡することもあります。

問2: どのように感染するの？

SFTSウイルスを保有しているマダニに刺咬されることにより感染します。マダニの中でも、病原体を保有しているマダニは極めてまれですが、発症すると重症化するので十分気をつけましょう。この病気を媒介するマダニは、家ダニなどとは違う種類で、10mmほどの野山に生息しているマダニです。

問3: どのように予防すればいいの？

マダニに刺咬されないことが重要です。草むらや山など、ダニが生息する場所に行く場合には、長袖・長ズボン・長靴、手袋、首にタオルを巻くなど、肌の露出をできるだけ少なくすることが大切です。虫除けスプレーも一定の忌避効果が得られます。ペットなどの身近な動物にも気をつけましょう。屋外活動後は入浴し、マダニが付着していないか注意深く全身チェックしましょう。

問4: もしマダニに刺されたらどうしたらいいの？

マダニ類の多くは、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、数日間吸血します。無理に引き抜こうとすると、口器の一部が皮内に残ってしまうことがあるので、医療機関で処置してもらってください。刺咬された後1～2週間は、発熱、嘔気、下痢などに注意し、症状があれば直ちに医療機関を受診してください。朝夕に体温を測り、裏面の体温表に記入し、熱が出たら直ぐに医療機関へ。

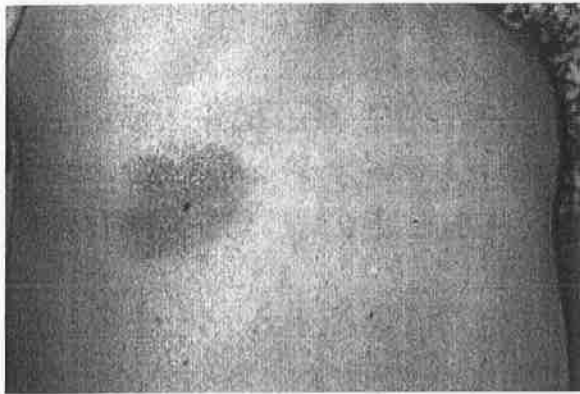
徳島県医学・感染症専門員 馬原 文彦先生監修

徳島県保健福祉部健康づくり課感染症・疾病対策室

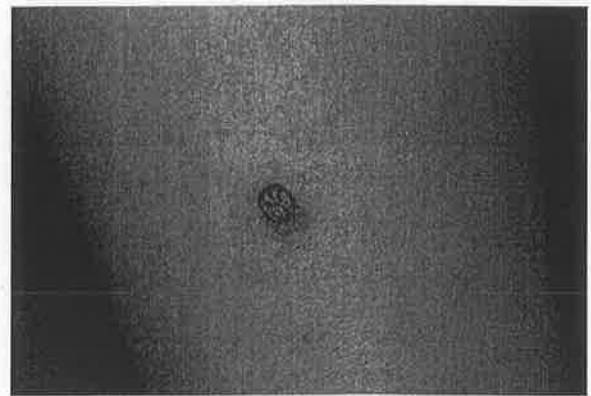
ダニに刺されたら1週間くらい朝夕に熱を測りましょう

		姓名								体重 kg							
ダニに刺された 月 日	第 日		第 日		第 日		第 日		第 日		第 日		第 日				
	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕			
体温																	
40																	
39																	
38																	
37																	
36																	
35																	

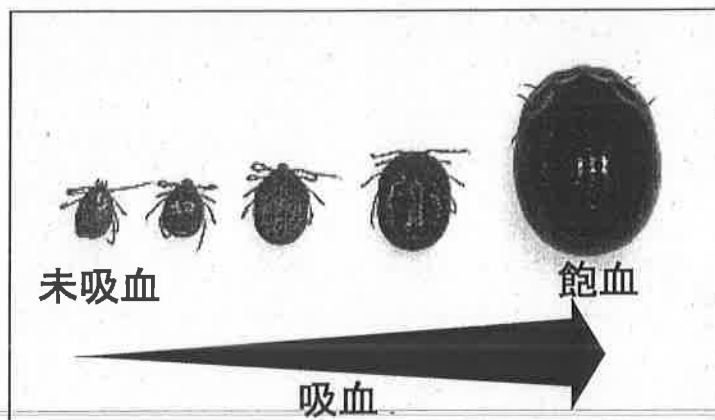
ヒトを刺咬しているマダニ



フタトゲチマダニ



タカサゴキララマダニ



吸血すると3~15ミリ位に膨れる

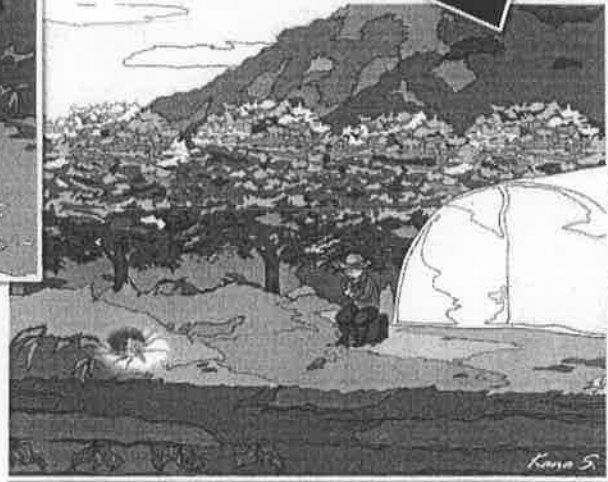
(写真提供: 馬原アカリ医学研究所)

1. マダニの生息場所



マダニは、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。

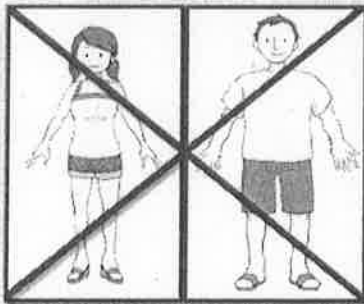
マダニは、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。



2. マダニから身を守る服装

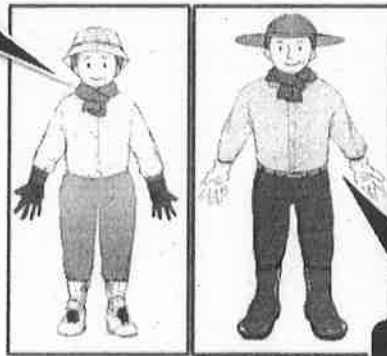
野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！

首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。



半ズボンやサンダル履きは不適當です！

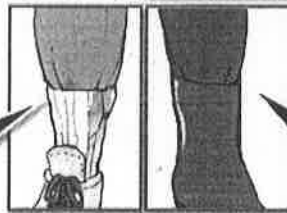
ハイキングなどで山林に入る場合は、ズボンの裾に靴下を被せましょう。



シャツの袖口は軍手や手袋の中に入れてみましょう。



シャツの裾はズボンの中に入れてみましょう。



農作業や草刈などではズボンの裾は長靴の中に入れてみましょう。

3. マダニから身を守る方法

上着や作業着は、
家の中に持ち込まない
ようにしましょう。



屋外活動後は、
シャワーや入浴で、
ダニが付いていないか
チェックしましょう。



ガムテープ
を使って服に
付いたダニを
取り除く方法
も効果的です。

ダニ類の多くは、長時間（10日間以上のこともある）吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置（マダニの除去や消毒など）を受けて下さい。

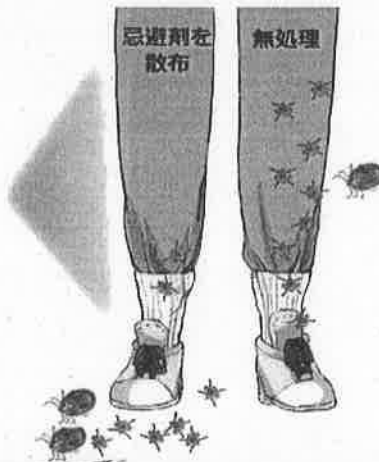
マダニに咬まれたら、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けて下さい。

4. 忌避剤の効果

海外ではマダニ対策に忌避剤(虫よけ剤)が
使用されていますが、日本には、マダニ用に
市販されている忌避剤は今のところありません。

日本では、ツツガムシ
(ダニ目ツツガムシ科)を
忌避する用途で、衣服に塗
布して使用する忌避剤(医
薬品)が複数市販されてい
ます。

このような忌避剤を使用
し、マダニに対して一定の
忌避効果が得られることが
確認されました。



ディート(忌避剤)の使用でマダニ付着数
は減少しますが、マダニを完全に防ぐわけでは
ありません。忌避剤を過信せず、様々な防護
手段と組み合わせて対策を取ってください。